

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	職員から複数挙がっている、入居者の自立度低下についての報告やその対応について、個々の職員に任せている状態で、ホームとしての取り組みが出来ていない。	ホーム全体で、入居者の自立度を維持する取り組みを展開する。	ホームの年間目標に「自立度維持の取り組み」を掲げる。各職員が個別で行っている体操や訓練のアイデアやノウハウを共有できる仕組みを作る。認知機能の面では、回想法を新たに取り入れ、ホームに根付かせる。	12ヶ月
2	5・2	行政との連携が十分とはいえない。また、ホームとして地域に貢献できる事をあまりしていない。	ホームから、地域貢献につながる取り組みを行政に提案し、協力した運営を目指す。	2階に予備室があるので、これを片づけて介護難民となっている方の一時的な利用や、介護保険によらない体験利用といった地域密着型グループホームを知っていただける材料として施設の一部を活用する方法を、行政に提案する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。